

非正規97万人減、過去最大

完全失業率2.6%に上昇

総務省が二十九日発表した四月の労働力調査によると、パートやアルバイトなど非正規労働者は二十九万人となり、前年同月比で九十七万人減った。比較可能な二〇一四年一月以降で下落幅は過去最大。新型コロナウイルスによる影響は過去最大に

新型コロナウイルス感染拡大に伴う政府の緊急事態宣言発令で「雇用の調整弁」として景気悪化に先行して減少する非正規労働者を直撃した格好となった。四月の完全失業率（季節調整値）は前月比0.1ポイント

上昇の2.6%となり、二カ月連続で悪化。休業者数は新型コロナウイルスの影響で事業主が従業員を休ませざるを得ない状況となった結果、前年同月比四百二十万人増の五百九十七万人となった。増加幅は過去最大だった。

厚生労働省が二十九日発表した四月の有効求人倍率は一・三二倍で前月と比べて0.07

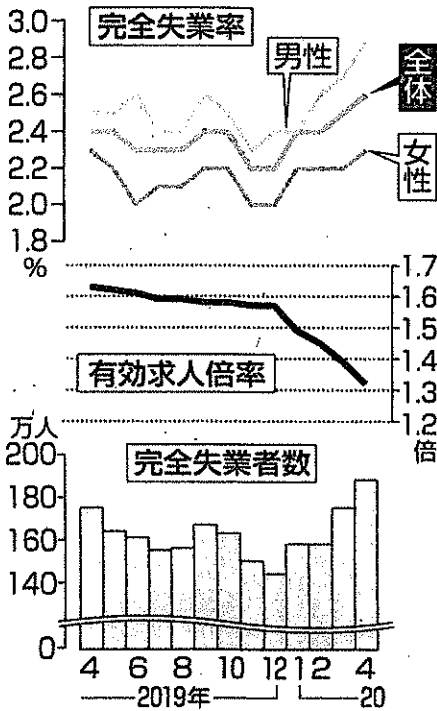
就業者数は前年同月比八十八万人減の六千六百二十八万人で、七年四月月ぶりに減少。男女別では男性が二十七万人減だったのに対し、女性は二倍近い五十三万人減となった。女性の就業者数の減少は八年二カ月ぶり。雇用の調整弁として景気悪化に先行して減少する非正規労働者の割合が、女性の方が高いためとみられる。

新規求人のうち宿泊業・飲食サービス業は前年同月比47.9%減とほぼ半減。人手不足だった業界の採用意欲が一転、大幅に落ち込んだ。生活関連サービス業・娯楽業は44.0%減、製造業は40.3%減だった。

新型コロナウイルスによる雇用への影響

完全失業率	2.6%となり、2カ月連続で悪化
有効求人倍率	1.32倍で4年1カ月ぶりの低水準
非正規労働者数	前年同月比97万人減少、過去最大の下落幅
新規求人数	宿泊業・飲食サービス業で半減
休業者数	前年同月比420万人増の597万人。過去最大の増加幅

※厚生労働省の一般職業紹介状況、総務省の労働力調査による



厚生労働省が二十九日発表した四月の有効求人倍率は一・三二倍で前月と比べて0.07

ローワークで仕事を探す人1人に対し、企業の求人が幾つあるかを表す数値。1倍を超すと求人が求職者より多いことになり、倍率が高いほど職を得やすいとされる。高度成長期後半の1973年11月の1.93倍が過去最高。リーマン・ショック後の2009年8月に0.42倍まで落ち込んだが、その後は景気回復に伴う人手不足を背景に持ち直した。